

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年2月4日(2021.2.4)

【公表番号】特表2020-504335(P2020-504335A)

【公表日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-005

【出願番号】特願2019-538260(P2019-538260)

【国際特許分類】

G 10 D 13/10 (2020.01)

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 10 D 13/063 (2020.01)

【F I】

G 10 D 13/00 230

G 10 H 1/00 A

G 10 D 13/06 110

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月16日(2020.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非円形のカットアウトを含むカバーを備え、

前記カットアウトは2つの平坦なエッジを含み、

前記カバーに当接するストップを更に備え、前記ストップは、前記カバーのカットアウトの平坦なエッジの各々に当接する2つの平坦なエッジを備えている、

電子シンバルアセンブリ。

【請求項2】

シンバルキャリアを更に備え；

前記ストップは、少なくとも2つの平坦なエッジを含むストップのカットアウトを規定するように形成され；

前記シンバルキャリアは、前記ストップのカットアウトから突出する少なくとも1つの部分を備え；

前記シンバルキャリアの前記部分は、前記ストップのカットアウトの平坦なエッジに当接する2つの平坦なエッジを備えている、

請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項3】

前記ストップ上にワッシャを更に備え、前記ワッシャは少なくとも2つの平坦なエッジを含むワッシャのカットアウトを規定するように形成され、前記ワッシャのカットアウトの平坦なエッジは前記シンバルキャリアの平坦なエッジに当接する、請求項2に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項4】

ベルを規定するように形成されたフレームと；

前記ベル上の非平面センサであって、前記ベル上の第1のセンサ部分と前記ベル上の第2のセンサ部分とを備え、前記第1のセンサ部分は前記第2のセンサ部分とは異なっている非平面センサと；

を備え、

前記センサは、実質的に環状の形状を規定する、電子シンバルアセンブリ。

【請求項 5】

前記第1のセンサ部分は、第2のセンサ部分の第1のエッジと重なる第1のセンサ部分の第1のエッジを含む、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 6】

前記第1のセンサ部分は、第2のセンサ部分の第1のエッジに当接する第1のセンサ部分の第1のエッジを含む、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 7】

前記第1のセンサ部分は、第2のセンサ部分の第1のエッジに近接しているが接触していない第1のセンサ部分の第1のエッジを含む、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 8】

前記第1のセンサ部分は、第2のセンサ部分の第2のエッジに近接しているが接触していない第1のセンサ部分の第2のエッジを含む、請求項7に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 9】

前記センサは、周囲が270°以上360°未満である、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 10】

前記センサは、周囲が330°以上360°未満である、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 11】

前記フレームのエッジに非平面状のエッジセンサを更に備え、前記エッジセンサは第1のエッジセンサ部分と第2のエッジセンサ部分とを備え、前記第1のエッジセンサ部分は前記第2のエッジセンサ部分とは異なっている、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 12】

前記センサは外側エッジと内側エッジとを備え、前記センサは前記外側エッジから前記内側エッジへと上昇するにつれて湾曲している、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 13】

前記センサは外側エッジと内側エッジとを備え、前記センサは前記外側エッジから前記内側エッジへと上昇するにつれて平坦であり、それによって実質的に円錐台形である、請求項4に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 14】

前記ストッパは柔軟である、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 15】

前記ストッパはフォームである、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 16】

前記非円形のカットアウトの前記2つの平坦なエッジは、規則的な多角形形状の一部である、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 17】

前記非円形のカットアウトの前記2つの平坦なエッジは、不規則な多角形形状の一部である、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 18】

前記非円形のカットアウトの前記2つの平坦なエッジは、星形状の一部である、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 19】

前記非円形のカットアウトは少なくとも第3の平坦なエッジを更に含み、前記ストッパ

は、前記非円形のカットアウトの前記第3の平坦なエッジに当接する第3の平坦なエッジを備えている、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項20】

前記非円形のカットアウトと前記ストップとは実質的に同一の形状である、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項21】

前記非円形のカットアウトは、少なくとも1つの湾曲したエッジを更に含んでいる、請求項1に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項22】

ベルを規定するように形成されたフレームと；

前記ベル上の非平面センサであって、前記センサは実質的に環状の形状を規定し、前記センサの外側エッジから前記センサの内側エッジまで上昇している非平面センサと；を備え、

前記センサは、周囲が180°以上360°未満である、電子シンバルアセンブリ。

【請求項23】

前記センサは、少なくとも第1のエッジ及び第2のエッジを更に備え、前記第1のエッジは、前記第2のエッジに近接しているが接触していない、請求項22に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項24】

前記センサは、周囲が270°以上360°未満である、請求項22に記載の電子シンバルアセンブリ。